

職員に事故発生の実態と経過を説明することを基本とする。説明はあらかじめ準備した資料に基づいて行う。その際、部署・患者・事故当事者等が特定されないように十分留意する。

他の患者への対応は、説明する範囲（病室、当該部署、施設全体）と内容を組織の対応方針に基づき決定する。

8) 重大な事故に関わった職員への対応

事故により重大な結果を招いた場合、当事者となった職員へは適切な配慮や長期的な支援が必要である。医療のプロセス・システムには、誰もが事故当事者となりうる危険性が潜んでいる。個人を責めるのではなく、医療のプロセス・システム全体に策を講ずることで再発防止を図る、という考え方を基本とする。職員へのサポートには、上司（直属、所属長、院長）によるサポート、同僚によるサポート、家族によるサポートなどがある。人・組織・機能を活かした支援体制を整え、当事者の状況に応じた支援内容を検討し、実施する。

6. 患者相談窓口の設置

本人に寄せられる患者の苦情等について迅速に対応するとともに、患者の意見や期待を聴き、医院の医療安全管理に積極的に活用し、病院運営全般に反映させるため、また本院の情報公開に資するため、相談窓口を設置し対応する。

1) 患者相談窓口の体制

患者相談窓口を設置し、患者・家族等からの相談に対応する担当者を配置する。

2) 患者相談窓口の業務

徹底するとともに、相談を行ったことにより患者や家族などが不利益を受けないよう配慮しなければならない。

3) 患者相談窓口に関する院内掲示

患者相談窓口担当者は、患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、対応時間等について、病院受付、待合室、病室等における掲示や、入院時の案内等を通じて、患者・家族等に幅広

く案内するよう努める。

7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順

医院では安全管理のための重要な規則や手順を以下のように決定し周知している。チーム医療の中で、これらの規則・手順が尊重され守られ、また評価されることは、患者安全を確保する上で極めて重要である。

- 患者確認のルール
- 誤薬防止のための基本ルール
- 輸血に関する事故予防マニュアル
- 化学療法実施マニュアル
- インスリン指示の標準
- 転倒・転落事故予防マニュアル
- 静脈血栓塞栓症予防マニュアル

8. 本指針の閲覧

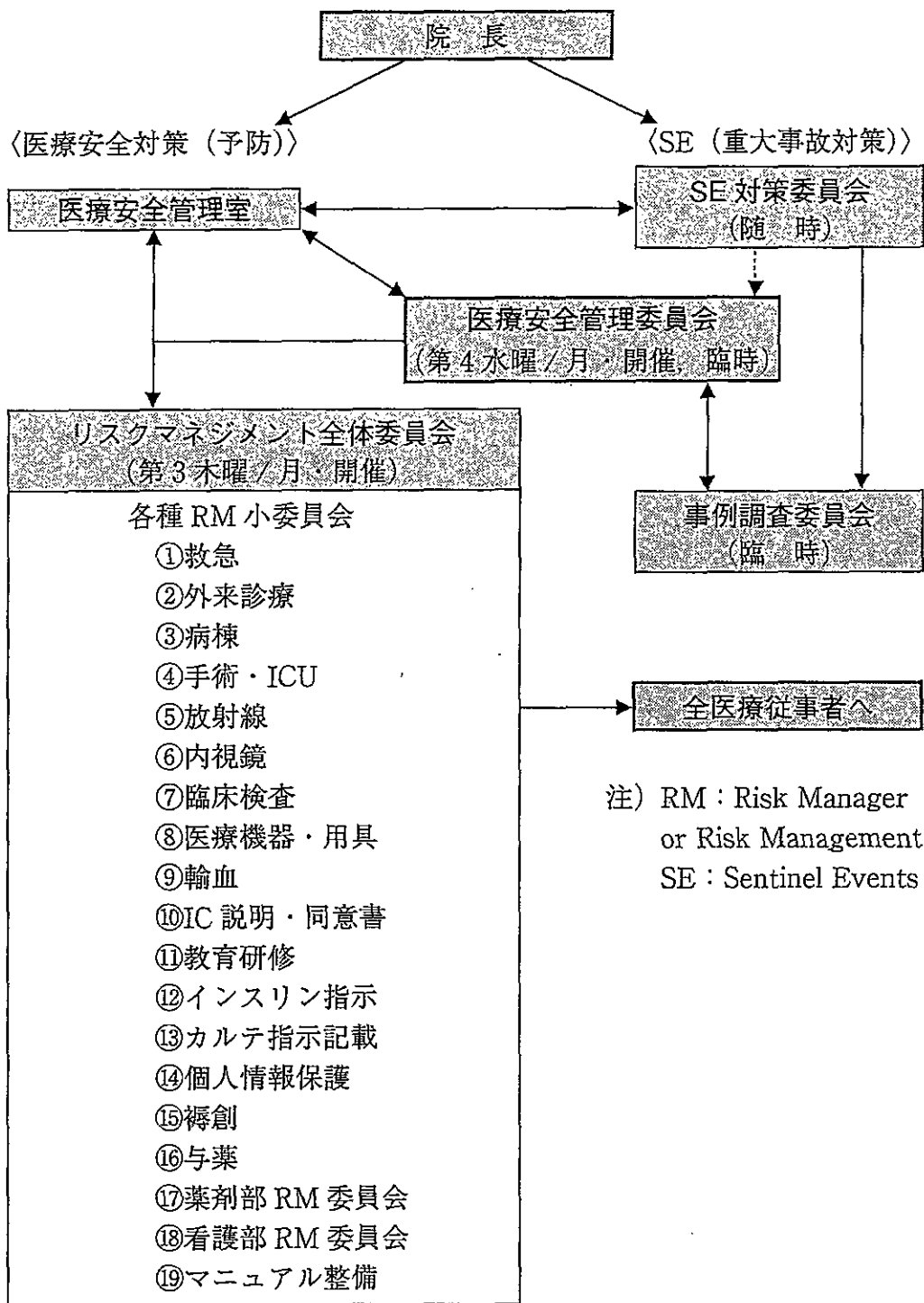
本指針は、患者及び家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じる。また、本指針についての照会には、医療安全管理室が対応する。

9. 付 則

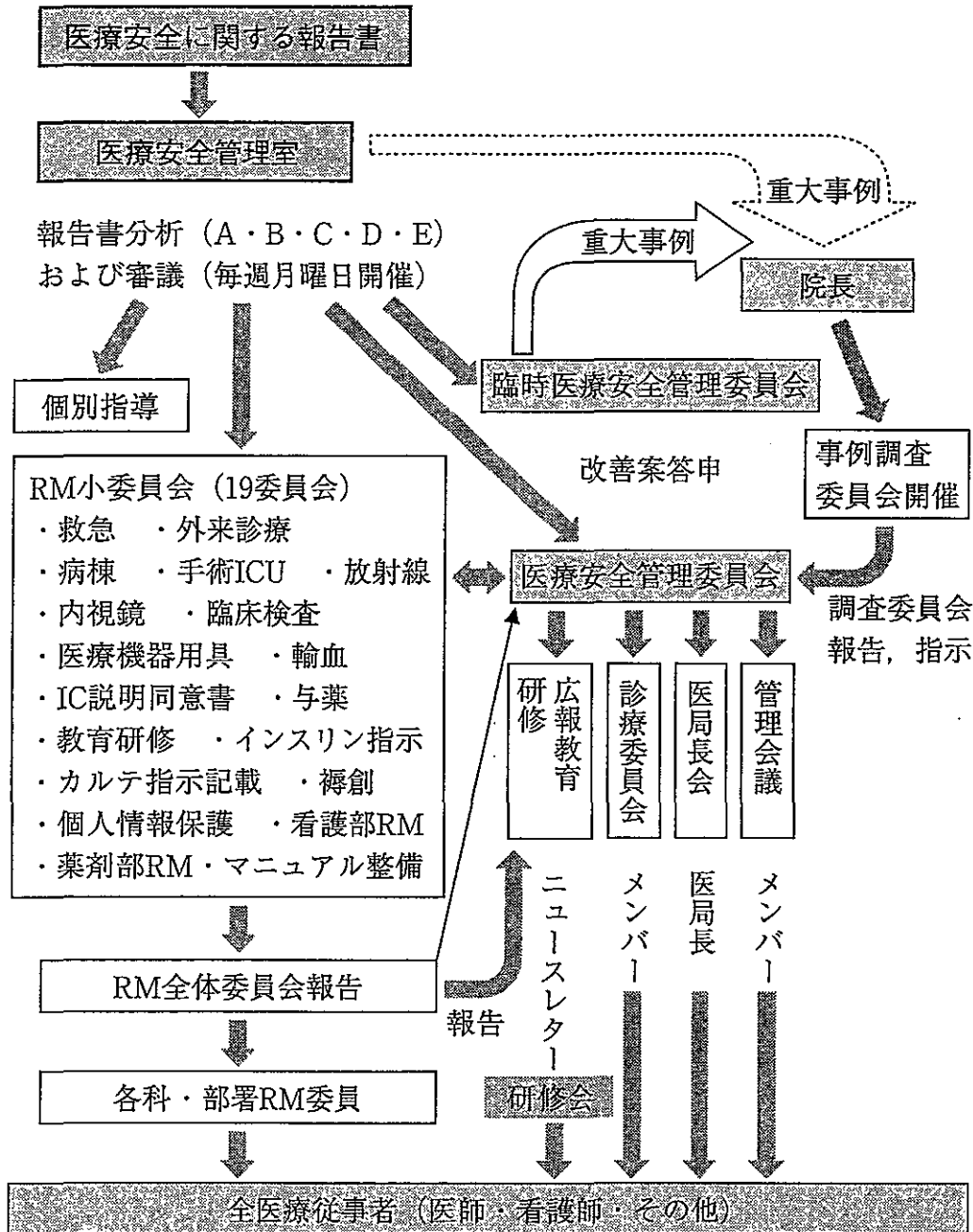
医療安全管理委員会は、少なくとも毎年1回以上、本指針の見直しを議事として取り上げ、改正を検討する。

(2007.7.25)

② 医療事故防止体制



⑤ 医療安全に関する報告書の流れ



平成18年度「医療安全に関する研修会」

	開催日時(場所)	プログラム	参加人数
1	平成18年4月24日(月) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 行動制限の落とし穴 講師 会田 秀子(医療安全管理者、医療安全管理室課長補佐) 2. 実施すべき基本的な感染症対策 手指衛生・標準予防策を中心に 講師 堀 賢 (感染対策室長、呼吸器内科講師)	798人
2	平成18年5月26日(金) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ ↓ 午後6時10分	1. 順天堂医院及び本郷キャンパスは敷地内禁煙になります 講師 瀬山邦明(禁煙推進委員会委員長、本郷キャンパス健康管理室産業医 呼吸器内科助教授) 2. 行動制限の落とし穴 講師 会田 秀子(医療安全管理者、医療安全管理室課長補佐) 3. 実施すべき基本的な感染症対策 手指衛生・標準予防策を中心に 講師 池田恵 (感染対策室ICP)	612人
3	平成18年6月22日(木) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 順天堂医院及び本郷キャンパスは敷地内禁煙になります 講師 瀬山邦明(禁煙推進委員会委員長、本郷キャンパス健康管理室産業医 呼吸器内科助教授) 2. 行動制限の落とし穴 講師 会田 秀子(医療安全管理者、医療安全管理室課長補佐) 3. 実施すべき基本的な感染症対策 手指衛生・標準予防策を中心に 講師 李澤 康雄 (感染対策室ICP)	369人
4	平成18年7月21日(金) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 災害の備え 講師 鈴木周二(施設部次長、自衛消防隊副隊長) 2. 接遇マナー -皆様の声より- 講師 小瀬良愛子(サービス課師長)	643人
5	平成18年9月15日(金) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 災害の備え 講師 鈴木周二(施設部次長、自衛消防隊副隊長) 2. 接遇マナー -皆様の声より- 講師 小瀬良愛子(サービス課師長)	328人
6	平成18年10月23日(月) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 災害の備え 講師 鈴木周二(施設部次長、自衛消防隊副隊長) 2. 接遇マナー -皆様の声より- 講師 小瀬良愛子(サービス課師長)	506人
7	平成18年11月30日(木) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 適正検体採取のために-感染症診療の基本- 講師 近藤成美 (臨床検査医学科講師、感染対策室ICD) 2. 検査における接遇マナー:放射線科 講師 尾崎 裕 (放射線科講師・医局長) 3. 本郷キャンパス敷地内禁煙と職員・学生の禁煙アンケート調査結果 講師 唐島孝彰 (禁煙推進委員会委員、管理課主任)	535人
8	平成18年12月13日(水) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 適正検体採取のために-感染症診療の基本- 講師 近藤成美 (臨床検査医学科講師、感染対策室ICD) 2. 検査における接遇マナー:放射線科 講師 尾崎 裕 (放射線科講師・医局長)	333人
9	平成19年1月22日(月) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 適正検体採取のために-感染症診療の基本- 講師 近藤成美 (臨床検査医学科講師、感染対策室ICD) 2. 検査における接遇マナー:放射線科 講師 尾崎 裕 (放射線科講師・医局長)	369人
10	平成19年2月20日(火) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 抗菌薬適正処方マニュアルについて 講師 近藤成美 (感染対策室ICD、臨床検査医学科講師) 堀 賢 (感染対策室長、呼吸器内科講師) 2. リスクマネジメントと接遇 講師 小林弘幸(医療安全管理室長、病院管理学教授)	270人
12	平成19年3月22日(木) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. 抗菌薬適正処方マニュアルについて 講師 近藤成美 (感染対策室ICD、臨床検査医学科講師) 堀 賢 (感染対策室長、呼吸器内科講師) 2. リスクマネジメントと接遇 講師 小林弘幸(医療安全管理室長、病院管理学教授)	142人
13	平成19年3月23日(金) (有山記念講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時10分	1. リスクマネジメントと接遇 講師 小林弘幸(医療安全管理室長、病院管理学教授) 2 講師 伊藤澄信(CCPセンター長、治験事務局 臨床薬理学客員教授)	252人

平成18年度「医療安全に関する研修会」部分研修

	開催日時(場所)	対象	主催	プログラム	参加人数
1	平成18年4月3日(月) (有山記念講堂) 午後1時10分 ↓ 午後1時40分	新入職員	人事部	平成18年度新人職員講習会 「リスクマネジメントについて」	235人
2	平成18年4月3日(月) (有山記念講堂) 午前11時05分 ↓ 午後0時00分	臨床研修 医(3病院 合同)	臨床研修セ ンター	平成18年度臨床研修医オリエンテーション 「リスクマネージメント」 (個人情報保護法を含む) 「インフォームド・コンセント」	68人
3	平成18年6月19日(月) (有山記念館講堂) 午後5時30分 ↓ 午後6時00分	医師	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	異状死の届出に関する研修会 講師 奥村徹(救急科長・助教授、救急部長)	93人
4	平成18年6月26日(月) (10号館1階カンファレンスルーム) 午後5時30分 ↓ 午後6時00分	医師	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	異状死の届出に関する研修会 講師 奥村徹(救急科長・助教授、救急部長)	126人
5	平成18年6月29日(木) (5号館3階会議室) 午後5時30分 ↓ 午後6時00分	医師	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	異状死の届出に関する研修会 講師 奥村徹(救急科長・助教授、救急部長)	118人
6	平成18年7月10日(月) (6号館2階第3カンファレンスルーム) 午後5時30分 ↓ 午後6時00分	看護部師 長・主任、 管理会議 メンバー部 署	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	異状死の届出に関する研修会	38人
7	平成18年7月12日(水) (10号館1階カンファレンスルーム) 午後5時30分 ↓ 午後6時00分	看護部師 長・主任、 管理会議 メンバー部 署	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	異状死の届出に関する研修会	42人
8	平成18年7月19日(水) (有山記念館講堂) 午後6時10分 ↓ 午後6時40分	看護部師 長・主任、 管理会議 メンバー部 署	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	異状死の届出に関する研修会	176人
9	平成18年8月9日(水) (5号館3階会議室) 午後5時30分 ↓ 午後6時00分	リスクマ ネー ジャー	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	リスクマネージャー研修 「報告書の提出について」 講師 会田秀子(医療安全管理者 医療安全管理室課長補佐)	24人
10	平成18年8月16日(水) (5号館3階会議室) 午後5時30分 ↓ 午後6時00分	リスクマ ネー ジャー	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	リスクマネージャー研修 「報告書の提出について」 講師 金井美紀(RM全体委員会委員長 膠原病・リウマチ内科講師 血漿交換療法室長)	50人

11	平成18年9月2日(土) 9月3日(日) (花王(株)霞ヶ浦研修所)	臨床研修 医(3病院 合同)	臨床研修セ ンター	「報告書の提出について」	64人
12	平成18年9月22日(金) (6号館2階第3カンファレンスルーム) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	医事課他 事務職員	医事課、RM 全体委員会、 教育研修関 連RM小委 員会	1. より良い接遇 講師天白 里 (株)ニチ学館新宿支店主任講師) 2. 標準予防策について 講師池田 恵(感染対策室ICP)	49人
13	平成18年9月28日(木) (6号館2階第3カンファレンスルーム) 午後5時30分 ↓ 午後6時30分	医事課他 事務職員	医事課、RM 全体委員会、 教育研修関 連RM小委 員会	1. より良い接遇 講師天白 里 (株)ニチ学館新宿支店主任講師) 2. 標準予防策について 講師池田 恵(感染対策室ICP)	48人
14	平成19年1月10日(水) (有山記念館講堂) 午後5時00分 ↓ 午後6時00分	医師・看 護師・リス クマネー ジャー	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	「異状死について」 講師:齋藤一之 法医学研究室客員教授 埼玉医科大学法医学教室	365人
15	平成19年1月25日(木) (有山記念館講堂) 午後5時00分 ↓ 午後6時00分	医師・看 護師・リス クマネー ジャー	RM全体委 員会、教育 研修関連R M小委員会	「異状死について」 講師:齋藤一之 法医学研究室客員教授 埼玉医科大学法医学教室	320人

院長殿
ゼネラルリスクマネジャー殿

年 月 日 No. _____
時 分 受領
平成 年 月 日

医療安全に関する報告書

*統計様式と併せて提出して下さい。

医療安全管理室

部科(課)名: _____

所属長名: _____ 印

↑(影響レベル2以下は、省略可)

リスクマネジャー名: _____ 印

影響レベル
(下段参照)

*レベル3b以上は必ずマニュアルをコピーし、修正事項を記入して一緒に提出。 報告者名: _____ 印

件名			SEチーム連絡 有・無
発生場所			診療録に記載 有・無
発生日時	平成 年 月 日 ()	午前・午後	時 分
患者氏名	殿 H・S・T 年 月 日生 ()歳		男・女
	ID:	診療科:	科 外来・入院
	号館	病棟	号室 入院年月日: 平成 年 月 日
	原疾患名:		
発生状況等 概要 程度 転帰			
①本人・家族への説明 ②本人・家族の反応	患者への説明(有・無) 説明した人() 説明を受けた人()		
予想される経過及び問題点と後遺症等。今後の対策			
備考	・ICと各種同意書(手術同意書、検査同意書等)の取得状況		

<影響レベル>

レベル	傷害の程度	内容(詳細は順天堂医院「医療事故防止対策マニュアル」参照)
レベル0		
1	なし	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。患者に実害がなかった。
2	軽度	処置や治療は行わなかった。
3a	一過性 中等度	簡単な処置や治療を要した。
3b	高度	濃厚な処置や治療を要した。
4a	軽度 中等度	永続的な障害や後遺症は残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
4b	中等度 高度	永続的な障害や後遺症は残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う。
5	死亡	死亡 (原疾患の自然経過によるものを除く)
その他		原疾患の経過中の死亡(他疾患の併発)等、上記以外の場合

*より詳細な期記述を行う場合には、この用紙のほかにA4用紙を追加してください。
提出先: 回覧 報告者 → 所属RM → 所属長 → 医療安全管理室(ゼネラルリスクマネジャー) 影響レベル3b以上 → 管理課 → 院長 事462 1/2

医療安全に関する報告書(統計様式)

当事者又は責任者が該当箇所の太枠内に"レ"を記入

問題発生曜日	1 曜日	2 土・日・祭日	99 不明
発生時間帯	時 分頃	1 9時~17時	2 17時~22時
影響レベル	1 レベル0・1	2 レベル2	3 レベル3a・b
当事者職種	1 医師	2 歯科医師	3 助産師
	6 看護助手	7 薬剤師	8 管理栄養士
	11 診療放射線技師	12 臨床検査技師	13 衛生検査技師
	16 言語療法士	17 歯科衛生士	18 視能訓練士
	21 社会福祉士	22 介護福祉士	23 臨床工学技士
	77 その他		24 保育士
当事者勤続年数	1 年	99 不明・その他	
当該部署配属年数	1 年	99 不明・その他	
発見者	1 当事者本人	2 同職種者	3 他職種者
	6 他患者	77 不明	99 その他
患者性別	1 男	2 女	3 特定できない
患者の年齢	1 才		3 特定できない
患者区分	1 入院患者	2 外来患者	99 その他
患者側の要因	1 障害なし	2 意識障害	3 視覚障害
	6 精神障害	7 痴呆・健忘	8 上肢障害
	11 床上安静	12 睡眠中	13 せん妄状態
	77 不明	99 その他	4 聴覚障害
			5 構音障害
発生場所	1 外来・診察室	2 外来・待合室	3 外来・その他
	6 病棟・病室	7 病棟・処置室	8 病棟・浴室
	11 分娩室	12 ICU	13 CCU
	16 検査室	17 機能訓練室	18 機能訓練室(重複)
	21 核医学検査室	22 放射線治療室	23 透析室
	26 トイレ	27 廊下	28 階段
			77 その他・院内
			99 その他・院外
発生場面	1 針刺し事故	2 指示出し	3 情報伝達過程
	6 調剤・調剤管理	7 点滴	8 輸血
	11 留置針・チューブ類使用・管理	12 出産・人工流産	13 その他の治療
	16 抑制に関わること	17 入浴	18 排泄
	21 診察	22 内視鏡検査	23 内視鏡以外の検査
	26 外出・外泊関係	27 院内での暴力	28 自殺
	31 患者家族への説明	32 物品搬送	33 放射線管理
	36 施設・設備	99 その他	4 与薬準備
			5 処方・与薬
			6 手術
発生要因	1 確認	2 観察	3 判断
	6 報告など	7 身体的条件	8 心理的条件
	11 記録等の記載	12 患者外見姓名類似	13 勤務状況
	16 薬剤	17 諸物品	18 施設・設備
	99 その他		19 教育・訓練
			20 説明・IC
起きていたであろう事故の影響度	1 小規模事故が予想された	2 中規模事故が予想された	3 大規模事故が予想された
			4 事故は防げなかった
			5 不明

*当事者が複数人の場合は当事者職種、経験年数、部署配属年数のみを記載してください。

報告書の提出を必要とする状況

- ① 患者様に障害が発生する可能性があった事態
- ② 患者様に障害が発生した事態
 - 1 与薬に関するインシデント・アクシデント
 - 2 医療機器・用具の不具合
 - 3 転倒、転落
 - 4 自殺、自殺企図
 - 5 無断離院
 - 6 発見、対処(処置)の遅れ
- ③ 患者・家族からの苦情(医療行為に関する)
- ④ 室料など「減免」を必要とする事態
- ⑤ 患者影響は無いが検討を必要とする状況

* に"レ"を記入してください

- 〈例〉①3 ①患者様に障害が発生する可能性があった事態+3転倒(①②に含まれるもの)
- 7 患者自身の自己管理薬の服用ミス
 - 8 患者自身の針刺し
 - 9 処置・手術・検査実施後、緊急入院から24時間以内に死亡された場合
 - 10 予期しない合併症
 - 11 予期出来る合併症であるが、ICが不十分であった事態
 - 12 エラーは無いが、結果的に事故となった場合で、報告が必要と考えられる事例